

II : 分担研究報告

研究 6

薬物使用のモニタリング調査に関する国際比較研究

分担研究報告書

薬物使用のモニタリング調査に関する国際比較研究

分担研究者：猪浦智史（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）

研究協力者：和田 清（埼玉県立精神医療センター依存症治療研究部）

研究代表者：嶋根卓也（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）

【研究要旨】

【目的】本研究の目的は、アジア諸国内における薬物乱用・依存のモニタリング体制の構築を促進することである。本年度は、(研究1) タイと日本における薬物使用状況について国際的視点より概観すること、(研究2) 韓国の薬物使用に関する全国学校調査 (Korean Youth Risk Behavior Web-based Survey:KYRBS) の概要と質問項目について調査すること、(研究3) 諸外国の青少年における薬物使用状況について調査し基礎資料を作成することを目的とした。

【方法】(1) 2019年にタイと日本で実施された薬物使用に関する全国住民調査（以下、タイ住民調査2019、日本住民調査2019）の結果より、両国の薬物使用経験率（生涯、過去1年）の推定値について調査比較した。(2) KYRBSの概要と2014年と2019年の質問項目について調査した。

(3) 日本と諸外国における青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査の報告書より、薬物使用経験率（生涯、過去1年、過去30日）について調査した。

【結果及び考察】(1) 薬物使用の生涯経験率の推定値（タイ、日本）は、大麻（2.55%、0.83%）、覚醒剤（2.34%、0.39%）、有機溶剤（0.35%、1.09%）であった一方、過去1年経験率は、大麻（0.83%、0.10%）、覚醒剤（0.93%、0.04%）、有機溶剤（0.11%、0.11%）であった。大麻について、両国ともに生涯経験率が有意に高く、世界の薬物使用の動向に沿った結果を示した一方で、過去1年経験率では、タイはアジア諸国の大麻使用状況と同程度の結果を示し、日本ではタイやアジア諸国と比較して有意に低い結果であった。覚醒剤については、タイにおいて生涯・過去1年経験率ともに、日本やアジア諸国の状況と比較して有意に高い結果を示した。有機溶剤の生涯経験率については、日本では唯一タイよりも有意に高い結果を示した。日本における薬物使用の過去1年経験率は、薬物6種間に有意差はみられず、タイやアジア諸国の状況と比較しても有意に高い使用薬物は確認されなかった。また、両国住民調査の報告会を兼ねて、国際シンポジウムを開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により開催計画を中止した。今後は、事態の終息後にタイとの共同研究の再開について検討していきたい。(2) KYRBSは2005年より毎年実施されており、青少年の危険行動に関する調査の一部として薬物使用（飲酒、喫煙、違法薬物など）に関する調査を実施していた。また、違法薬物に関する詳細な調査が実施されたのは、2014年調査が最新であり、有機溶剤、大麻、覚醒剤に関する質問項目が含まれていた。今後も韓国と連携し青少年の薬物モニタリング体制の構築について検討したい。(3) 日本と諸外国における青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査（全8調査）より、薬物使用経験率（生涯、過去1年、過去30日）について調査し基礎資料を作成した。今後は、これらの資料を活用し、薬物乱用防止教育用の啓発資料を作成していく。

A. 研究目的

わが国での薬物問題は、一時期の危険ドラッグの流行や近年の大麻使用経験者の増加^{1,2)}が見られるように経年的に変化している。これらの変遷は国内だけでなく、国外からの影響も多く受けており、特に近隣国での薬物使用の動向について、正確かつ継続的に把握しておくことは、自国での流行に備えて非常に重要といえる。例えば、欧州においては、The European Monitoring Centre for Drugs and Drug Addicition (EMCDDA) が存在し、EU 加盟国から送られてくる薬物乱用状況に関するデータを集計・分析し、各国が薬物使用状況の変化に対応できるように情報を還元している³⁾。しかし、日本を含むアジア諸国内での薬物使用のモニタリング体制は未だ乏しいのが現状である。

わが国では、国立精神・神経医療研究センターが、1995年より薬物使用に関する全国住民調査を隔年で実施しており、最新の薬物乱用の実態把握と経年変化のモニタリングを行っている³⁾。これらのモニタリング調査は、近隣国でも同様の目的で実施されている。例えば、本研究で注目するタイでは、薬物政策の大きな転機があった2001年より、Survey on quality of living and size estimation on substance use（以下、タイ住民調査）が隔年を目安に実施されている⁴⁾。

タイでは、1990年代初頭に、覚醒剤（報告書では、メタンフェタミン、アンフェタミン型精神刺激薬、ヒロポンなどをまとめて、覚醒剤と表記する）の乱用が社会問題となり、これらの薬物問題の煽りを受け、2001年に政府より薬物対策の方針が発表され、2003年に「War of Drugs」が実施された。これらは、薬物の売人への厳しい制裁の一方で、薬物依存症者に対する予防や治療が拡充された政策である⁵⁾。その後、政策の効果が一定期間見られたものの、現在でも覚醒剤は主要薬物であり続け、わが国同様、問題は深刻である。また、タイでの覚醒剤乱用者の取締りの裏で、大麻使用者の増加がみられている⁴⁾。さらに、タイでは、2018年に、医療目的での大麻使用が解禁され、国内での薬

物政策が注目されている⁶⁾。わが国でも大麻事犯者の増加や、大麻使用経験者が増加していることから²⁾、今後の薬物使用状況の動向や政府の政策について参考とすべきことは多いと考えられる。

青少年における薬物乱用・依存のモニタリング体制の構築も重要であると考えられる。わが国においては、隔年で飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（以下、中学生調査）⁷⁾、および薬物使用と生活に関する全国高校生調査（以下、高校生調査）⁸⁾を実施し、青少年の薬物使用の実態把握と経年変化についてモニタリングしている。しかし、青少年の薬物使用については、国際的視点から評価できておらず、近隣国の薬物使用の動向についても国際連携のもと監視していくことは、将来の流行や対処に備えるために重要といえる。

海外の青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査では、米国における Monitoring the Future National Survey⁹⁾ や欧州における European School Survey Project on Alcohol and Other Drugs¹⁰⁾ が有名である。また、アジア諸国では本研究で注目する韓国において、中学生、高校生を対象とした Korean Youth Risk Behavior Web-Based Survey（以下、KYRBS）¹¹⁾の一部として、薬物使用に関する調査が実施されている。

韓国では、1970年代頃より、日本での覚醒剤の乱用問題の影響や国内外の犯罪組織の活発化により、薬物の流入が増加し、覚醒剤の乱用が問題となった¹²⁻¹⁴⁾。特に、1980年代以降は、国際化やインターネットの急速な普及により、覚醒剤以外にも、エクスタシーやLSDなどの多様な薬物が国内に流入し、薬物問題が社会の中に浸透していった背景がある^{15, 16)}。近年では、密輸による違法薬物の押収量の増加や¹⁷⁾ 薬物依存症治療者の急激な増加などが報告されており¹⁸⁾、薬物問題が深刻化していることが予測される。また、昨今の韓国における、医療目的での大麻使用の解禁についても¹⁹⁾、タイ同様に大麻使用の動向や薬物政策に関して情報共有を図ることは、わが国の今後の青少年の薬物問題に対処していくために重要であると考えられる。

また、前述した通り日本の青少年における薬物使用状況や経年変化については、中学生調査や高校生調査を通じて調査しているものの、諸外国における青少年の薬物使用状況について調査比較した基礎資料は大変少ない。諸外国における青少年の薬物使用状況について把握しておくことは、今後のわが国の青少年における薬物使用の動向について国際的視点から検討するために重要である。

以上のことから、本研究では、アジア諸国における薬物乱用・依存のモニタリング体制の構築を促進することを目的として、定期的に薬物使用のモニタリング調査を実施しており、薬物使用状況がわが国と共通しているタイと韓国に注目し、薬物使用のモニタリング調査に関する国際比較研究を推進する。昨年度の研究では、タイ住民調査 2019 の概要、および研究方法について調査し、両国で比較可能な研究質問項目について検討した。

本年度の研究目的は、(研究 1) タイと日本における薬物使用状況について国際的視点より概観すること、(研究 2) 韓国における青少年の薬物モニタリング調査の国際連携の可能性について検討するために、韓国で実施されている全国学校調査 (KYRBS) の概要と質問項目について調査すること、(研究 3) 日本と諸外国の青少年における薬物使用状況について調査し基礎資料を作成することを目的とした。

B. 研究方法

1. タイ住民調査 2019 の結果報告

タイ住民調査を担当しているタイ国立チェンマイ大学の Kanittha Thaikla 先生、および Chaisiri Angkurawaranon 先生とメールでのやり取りにより、タイ住民調査 2019 の結果について調査した。なお、調査終了後、調査結果に関する Draft report (別添 1) を受領した。その後、飲酒、喫煙、エナジードリンク、鎮痛薬、睡眠薬、その他薬物経験率 (生涯、過去 1 年) および、薬物依存症治療経験率の点推定値および区間推定値 (95%信頼区間) のデータをエクセル

ファイルにて受領した (表 1)。なお、推定値は、Stata Complex Samples を用いて算出した。

2. 日本住民調査 2019 の結果報告

日本住民調査 2019 の報告書³⁾より、英語版の Draft report を作成し (別添 2)、タイ住民調査担当者にメールにて共有した。日本住民調査における経験率は、IBM SPSS Complex Samples を用いて算出した、点推定値および区間推定値 (95%信頼区間) を使用した。

3. 薬物使用経験の国際比較

両国住民調査における共通調査項目である大麻、覚醒剤、MDMA (Ecstasy)、有機溶剤、コカイン、ヘロインの 6 種の薬物使用経験率 (生涯、過去 1 年) の点推定値および区間推定値 (95%信頼区間) について調査比較した。なお、各薬物の使用経験率 (推計値) の比較は、信頼区間の重なりがみられない場合を有意に差があるとみなし、信頼区間の重なりがみられる場合を有意な差がないとみなした。

4. 国際シンポジウム

タイ住民調査の担当者とメールにてやりとりし、日本での国際シンポジウムの開催の調整を行った。しかしながら、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大に伴い、国際シンポジウムの開催を中止した。その代わりに、オンライン会議 (Zoom) を開催し、両国の Draft report (別添 1、別添 2) に基づいて、調査結果の報告を行った。

5. KYRBS の概要および質問項目

KYRBS を担当している韓国国立精神保健研究所の Subin Park 先生とメールにて連絡を取り、KYRBS についての情報提供をいただいた。また、調査の実施主体である the Korea Disease Control and Prevention Agency のホームページ²⁰⁾ についてご紹介いただき、そのサイトより、KYRBS2014 と KYRBS2019 の 2 年分の質問紙をダウンロードした。その後、翻訳会社 (株式会社クリムゾンインタラクティブジャパン) に

依頼し、質問紙を韓国語から日本語に翻訳後に質問項目の内容について調査した。

なお、最新調査である 2019 年調査以外に、2014 年調査の質問紙についても調査した理由として、2019 年調査では、覚醒剤や大麻を含む何れかの薬物使用経験に関する質問項目のみが含まれている一方、2014 年調査については、薬物別の薬物使用経験に関する質問項目が含まれており、薬物別の生涯使用経験率を算出できる最新調査年であったため、2014 年調査も含め質問紙について調査した。

6. 日本と諸外国における青少年の薬物使用状況に関する基礎資料の作成

日本と諸外国で実施されている青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査の報告書より、薬物使用経験率（生涯、過去 1 年、過去 30 日）について調査し基礎資料を作成した（別添 5）。

（倫理面への配慮）

なお、本調査研究は、人を対象とする医学系研究には該当しない。

C. 研究結果

1. タイと日本における薬物使用状況

両国住民調査の結果より、両国の薬物使用経験率（生涯と過去 1 年）について表 2 に示した。

薬物使用の生涯経験率（%）の推定値（95%信頼区間の下限值-上限値）については、タイでは、大麻：2.55（2.34-2.79）、覚醒剤：2.34（2.14-2.57）、有機溶剤：0.35（0.27-0.46）、Ecstasy：0.23（0.16-0.32）、コカイン：0.12（0.07-0.20）、ヘロイン：0.25（0.18-0.37）の結果を示した一方で、日本では、大麻：1.81（1.40-2.35）、覚醒剤：0.39（0.21-0.73）、有機溶剤：1.09（0.80-1.48）、Ecstasy：0.30（0.15-0.59）、コカイン：0.34（0.17-0.67）、ヘロイン：0.13（0.0-0.41）であった。

薬物使用の過去 1 年経験率（%）の推定値（95%信頼区間の下限值-上限値）については、タイでは、大麻：0.83（0.70-0.99）、覚醒剤：0.93

（0.80-1.08）、有機溶剤：0.11（0.08-0.16）、Ecstasy：0.14（0.08-0.24）、コカイン：0.02（0.01-0.04）、ヘロイン：0.13（0.06-0.26）の結果を示した一方で、日本では、大麻：0.10（0.05-0.24）、覚醒剤：0.04（0.0-0.17）、有機溶剤：0.11（0.0-0.38）、Ecstasy：0.04（0.01-0.09）、コカイン：0.04（0.01-0.09）、ヘロイン：0.04（0.0-0.16）であった。

2. KYRBS の概要および質問項目

1) KYRBS の概要

KYRBS は韓国の the Center for Disease Control and Prevention（CDC）を主管として実施されている全国の中学生と高校生を対象とした全国学校調査である。調査結果は、韓国の国民健康計画（Korea's National Health Plan）の健康目標設定のための指標として使用されているほか、学校保健政策の計画や評価のための資料として活用される。KYRBS は、国民健康増進基金（National Health Promotion Fund of Korea）からの財政支援と教育省（Ministry of Education）の行政協力のもと、2005 年から毎年実施されており、2019 年に第 15 回目の調査が実施された²¹⁾。

2) KYRBS2014 の質問項目

質問項目は全部で 125 項目あり、基本属性、喫煙、飲酒、身体活動、食生活、肥満・体重管理、精神保健、傷害・事故、歯衛生、衛生意識、薬物使用、性行動、アトピー・喘息、インターネット依存、暴力などの分野に分かれて構成されている。飲酒、喫煙、およびその他薬物に関する質問項目は、125 項目のうち 31 項目確認できた（別添 3）。なお、以下に飲酒、喫煙およびその他薬物別の質問項目を示す。

（1）飲酒に関する質問項目（9 項目）

①飲酒経験（生涯）、②初めて飲酒した学年、③飲酒頻度（過去 30 日）、④平均飲酒量（過去 30 日）、⑤飲酒問題（過去 12 か月）、⑥お酒の入手経路（過去 30 日）、⑦お酒の入手可能性（過去 30 日）、⑧飲酒に関する予防教育を受けた経験（過去 12 か月）、⑨飲酒により性関係を持った経験

（2）喫煙に関する質問項目（19 項目）

①喫煙経験（生涯）、②初めて喫煙した学年、③初回喫煙時の喫煙理由、④喫煙頻度（過去30日）、⑤毎日喫煙をするようになった学年、⑥喫煙本数（過去30日）、⑦主な喫煙場所（過去30日）、⑧タバコの入手経路（過去30日）、⑨タバコの入手可能性（過去30日）、⑩禁煙を試みた経験（過去12か月）、⑪禁煙をしようとする主な理由、⑫禁煙に関する広告を見聞きした経験（過去12か月）、⑬他者の喫煙の暴露経験（過去7日）、⑭家族内での喫煙者の有無、⑮親しい友人の喫煙者の有無、⑯学校職員の喫煙の目撃体験（過去30日）、⑰喫煙に関する予防教育を受けた経験（過去12か月）、⑱電子タバコの喫煙経験（生涯）、⑲電子タバコの喫煙経験（過去30日）

(3) その他薬物に関する質問項目（5項目）

①習慣的、意図的な薬物の使用経験やブタンガス、ボンドの使用経験、②何れかの生涯薬物使用経験（ブタンガス、ボンド、シンナー、睡眠薬、覚醒剤、麻薬、多量の咳止め薬、精神安定剤など）、③生涯薬物使用経験（使用経験のある以下の薬物を全て選択）

- ・吸入剤（ブタンガス、ボンド、シンナー、ニス、ライターガス）
- ・睡眠薬（タイミン、ナイトSS、エスナイン、レクリン）
- ・精神安定剤（バリウム：ジアゼパム、アチバン、ザナックス）
- ・多量の咳止め薬（ロミナ、ルビーキング、エス錠、ジノルタ）
- ・食欲抑制剤（プリンガ、ラシックス）
- ・大麻草
- ・覚醒剤
- ・その他の幻覚剤（ケタミン、LSD、エクスタシー、ゴメオ、クラトム、アイス）
- ・アヘン系（生アヘン、モルヒネ、デメロール、ナルブフィン塩酸塩、ケシエキス）

④初めて使用した薬物（問95のうち）、⑤薬物を繰り返し使用する理由

3) KYRBS2019の質問項目

質問項目は、全部で105項目あり、基本属性、

喫煙、飲酒、身体活動、食生活、肥満・体重管理、精神保健、傷害・事故、歯衛生、衛生意識、薬物使用、性行動、アトピー・喘息、インターネット依存、暴力などの分野に分かれて構成されている。飲酒、喫煙、その他薬物使用に関する質問項目は、105項目のうち25項目あった（別添4）。なお、以下に飲酒、喫煙、およびその他薬物使用に関する質問項目を示す。

(1) 飲酒に関する質問項目（6項目）

①生涯の飲酒経験、②初めて飲酒した学年、③飲酒頻度（過去30日）、④平均飲酒量（過去30日）、⑤ブラックアウト頻度（過去30日）、⑥お酒の入手可能性（過去30日）

(2) 喫煙に関する項目（17項目）

①喫煙経験（生涯）、②喫煙頻度（過去30日）、③電子タバコの喫煙経験（生涯）、④電子タバコの喫煙頻度（過去30日）、⑤加熱式タバコ喫煙経験（生涯）、⑥加熱式タバコ喫煙頻度（過去30日）、⑦初めて喫煙した学年、⑧毎日喫煙をするようになった学年、⑨喫煙本数（過去30日）、⑩タバコの入手可能性（過去30日）、⑪禁煙を試みた経験（過去12か月）、⑫家庭におけるタバコ暴露頻度（過去7日）、⑬学校におけるタバコ暴露頻度（過去7日）、⑭自宅や学校以外における室内でタバコ暴露頻度（過去7日）⑮タバコの箱の警告イラストを見た経験（過去30日）、⑯タバコの箱の警告イラストを見て喫煙の健康被害について思った感想、⑰タバコの箱の警告イラストを見てタバコを吸ってはいけないと思ったか

(3) その他薬物に関する項目（2項目）

①習慣的、意図的な薬物の使用経験やブタンガス、ボンドの使用経験、②何れかの薬物の使用経験（ブタンガス、ボンド、睡眠薬、覚醒剤、麻薬、多量の咳止め薬、精神安定剤など）

3. 日本と諸外国における青少年の薬物使用状況に関する基礎資料の作成

日本と諸外国における青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査（全8調査）より、薬物使用経験率（生涯、過去1年、過去30日）について調査し基礎資料を作成した（別添

- 5)。8調査の内訳は、以下のとおりである。
- 1) 飲酒・喫煙・薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査 (2018年)⁷⁾
 - 2) 薬物使用と生活に関する全国高校生調査 2018⁸⁾
 - 3) Korean Youth Risk Behavior Web-based Survey 2014^{11)、20)}
 - 4) Korean Youth Risk Behavior Web-based Survey 2019²⁰⁾
 - 5) Thailand Global School-Based Student Health Survey 2015²²⁾
 - 6) Monitoring the Future National Survey 2019⁹⁾
 - 7) European School Survey Project on Alcohol and Other Drugs 2019¹⁰⁾
 - 8) Austrarian Secondary School Students Alcohol and Drug Survey 2017²³⁾

D. 考察

1. タイと日本における薬物使用状況

タイ住民調査 2019 および日本住民調査 2019 の結果より、両国の薬物使用経験率（生涯、過去1年）の点推定値および区間推定値（95%信頼区間）について調査比較した。

タイと日本における薬物6種間（大麻、覚醒剤、MDMA (Ecstasy)、有機溶剤、コカイン、ヘロイン）の生涯経験率の比較では、タイにおいて大麻と覚醒剤の経験率がその他4種の薬物に比べて有意に高い結果を示した一方で、日本では大麻と有機溶剤の経験率がその他4種の薬物に比べて有意に高い結果を示した。また、薬物使用の過去1年経験率の比較では、タイにおいて大麻と覚醒剤の経験率がその他4種の薬物と比較して有意に高い結果を示した一方で、日本では6種間の薬物使用経験率に有意な差はみられなかった。

次に、両国における薬物使用経験率の比較では、日本では有機溶剤の生涯経験率が有意に高く、タイでは覚醒剤の生涯経験率が有意に高いことが確認できた。また、過去1年経験率については、タイにおいて大麻と覚醒剤の経験率が

有意に高いことが確認できた。以上の結果から、タイと日本において、主に使用経験率が高かった大麻、覚醒剤、有機溶剤に焦点を当て、国際的な薬物使用状況も踏まえ、以下に考察した。

大麻については、両国ともに生涯経験率が有意に高い結果を示していた。国連の2018年時点での報告²⁴⁾によると、大麻が世界において最も多く使用されている薬物であることが報告されており、両国の結果は、アジア諸国内だけでなく、世界の薬物使用の動向に沿った結果を示していた。また、大麻の過去1年経験率では、タイにおいて覚醒剤と同様に多く使用されており、日本と比較しても有意に高い結果を示した。国連の報告²⁴⁾によると2018年時点においてアジア諸国における15歳から64歳における大麻の過去1年経験率（推計値）は、1.86% (0.63-3.10) と報告しており、タイの過去1年大麻経験率（推計値）と比較すると、低い値を示しているものの有意差は確認できず、アジア諸国内の大麻使用状況と同程度の実態を示した。近年の世界的な医療用大麻や嗜好用大麻の合法化による大麻使用経験者の増加の報告がされていることやタイにおいても、2018年に医療用大麻の合法化の動きがあったこともあり、今後の大麻使用の動向に注意が必要である。

覚醒剤については、タイにおいて生涯経験率と過去1年経験率ともに、日本と比較して有意に高い結果を示していた。国連の報告²⁴⁾では、2018年時点のアジア諸国における15歳から64歳における覚醒剤の過去1年経験率（推計値）は、0.42% (0.38%-0.45%) と報告しており、タイにおける覚醒剤の過去1年経験率はアジア諸国と比較しても有意に高く、薬物使用状況は深刻であることが理解できる。同報告書によると、世界的に覚醒剤の押収量が近年増加傾向にあり、特にタイでは、覚醒剤の押収量が米国に次いで、世界2位であるとの報告されており、タイにおける覚醒剤市場の拡大を示唆している。日本住民調査におけるわが国の覚醒剤の過去1年経験率は、アジア諸国の薬物使用の動向と比較しても少ない数値を示しているが、タイの覚醒剤事情は日本における薬物の流通にも大き

く影響するため、今後の動向について注意が必要である²⁵⁾。

有機溶剤について、日本ではタイと比較して生涯経験率が有意に高い結果を示していた。これは、わが国においてシンナー遊びが流行した経緯があり、40代や50代の世代において、有機溶剤の経験者が多いことが報告されている³⁾。しかし、現在、有機溶剤の乱用は減少傾向にあり、タイの有機溶剤の過去1年経験率と比較しても有意な差はみられず、国際的にも流行は確認されていない。

日本における薬物使用の過去1年経験率では、各6種間に有意な差がみられず、タイやアジア諸国のデータと比較して、有意に高い使用薬物は確認されなかった。これまで日本住民調査において、標本数や薬物使用経験者が少ないことにより、過去1年経験率の推計値が算出できない課題があったが、2019年調査より、標本数を増やしたことにより、初めて推計値が算出された背景がある。過去1年経験率の把握は、国際的にも薬物使用状況の評価として使用される重要な指標であるため、今後も経年的に調査することが望まれる。

研究1の限界について、以下に述べたい。まず、両国住民調査の対象年齢が異なっている点である。タイ住民調査では、12歳から65歳を対象としており、日本住民調査では、15歳から64歳を対象としているため、タイ住民調査が示す経験率については、10代の対象者のデータが多く反映されている可能性が考えられる。次に、先にも述べた通り、日本住民調査では、薬物使用経験者数が非常に少なく、特に、過去1年経験率については、過去1年間の経験者数が一桁であり、正規性を前提とするIBM SPSS Complex Samplesでは、正確な推定値が得られない可能性がある。そのため、薬物使用経験率（生涯、過去1年）の推定値は、あくまでも参考値として捉え、点推定値のみではなく、区間推定（95%信頼区間）の上限値についても考慮し、比較することが望ましい。最後に、本研究における薬物使用経験の国際比較は、単年の横断的な調査結果の比較であるため、両国における薬物の経

年変化については比較できていない。そのため、経年的な経験率の変化を比較することで、薬物使用の動向について議論することが望ましい。

以上の限界はありつつも、研究1では、以下の知見が得られた。最初に、大麻について、両国ともに生涯経験率が有意に高く、世界の薬物使用の動向に沿った結果を示した一方、過去1年経験率は、タイがアジア諸国の大麻使用状況と同程度の結果を示し、日本では、タイやアジア諸国と比較して有意に低い結果であった。次に覚醒剤については、タイにおいて生涯・過去1年経験率ともに、日本やアジア諸国内の状況と比較して有意に高い結果を示した。さらに有機溶剤の生涯経験率について、日本では唯一タイよりも有意に高い結果を示した。最後に日本における薬物使用の過去1年経験率では、薬物6種間に有意差はみられず、タイやアジア諸国の状況と比較しても有意に高い使用薬物は確認されなかった。

本研究では両国の調査結果より報告会（国際シンポジウム）を開催予定であった。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、開催計画を中断した経緯がある。今後は、事態の終息後にタイとの共同研究の再開について検討していきたい。

2. KYRBS の概要および質問項目

韓国で実施されている全国学校調査 KYRBS の概要と質問項目について調査した。

KYRBS2014 については、違法薬物別の生涯使用経験について調査している最新の調査年であり、違法薬物だけでなく、睡眠薬や食欲抑制剤などの薬物についても調査しており、韓国の青少年における乱用薬物について確認できた。また、わが国が実施する中学生調査や高校生調査との共通調査項目として、有機溶剤、大麻、覚醒剤が確認できた。

KYRBS2019 については、飲酒、喫煙、その他薬物に関する生涯経験、過去12ヶ月経験、過去30日経験など、わが国の中学生調査や高校生調査と共通する質問項目が多く含まれていた。KYRBS2014 と共通する特徴として、両調査に

において喫煙に関する項目が一番多く、青少年の喫煙の問題に対する調査を重要視していることが考えられた。また、紙巻タバコの喫煙率だけでなく、電子タバコや加熱式タバコの使用経験や、自分自身の喫煙経験だけでなく、受動喫煙に関する質問項目が含まれていることが特徴として考えられた。

結論として、わが国と共通した薬物使用経験に関する質問項目が多く含まれており、今後のモニタリング調査として共同して実施していくことは十分可能であると考えられた。しかし、両年調査において、違法薬物に関する質問項目が少ないことや、2014年以降、違法薬物別の生涯経験について詳細に調査されていないことから、青少年における違法薬物の使用実態について、あまり重要視されていない可能性も考えられた。今後の青少年の飲酒、喫煙、薬物乱用に関するモニタリング調査の国際連携について、韓国側の調査担当者と協議し、実現可能性について引き続き検討していく。

3. 日本と諸外国における青少年の薬物使用状況に関する基礎資料の作成

日本と諸外国における青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査（全8調査）より、薬物使用経験率（生涯、過去1年、過去30日）について調査し基礎資料を作成した（別添5）。これらの資料を用いて、今後は薬物乱用防止教育に携わる関係者向けの啓発資料（インフォグラフィックス）の作成を計画している。なお、啓発資料の表紙（案）のみ、本報告書に添付している（別添6）。これらの資料を通じて、国際的視点から青少年の薬物使用問題について検討するための一助となれば幸いである。

E. 結論

本研究では、アジア諸国における薬物乱用・依存のモニタリング体制の構築を促進することを目的として、タイと韓国に注目し国際比較研究を展開した。研究1では、タイと日本における薬物使用状況について国際的視点より外

観した。まずは大麻について、両国ともに生涯経験率が有意に高く、世界の薬物使用の動向に沿った結果を示した一方で、過去1年経験率では、タイがアジア諸国の大麻使用状況と同程度の結果を示し、日本では、タイやアジア諸国と比較して有意に低い結果であった。次に、覚醒剤については、タイにおいて生涯・過去1年経験率ともに、日本やアジア諸国内の状況と比較して有意に高い結果を示した。また、有機溶剤の生涯経験率について、日本では唯一タイよりも有意に高い結果を示した。最後に、日本における薬物使用の過去1年経験率では、薬物6種間に有意差はみられず、タイやアジア諸国の状況と比較しても有意に高い使用薬物は確認されなかった。研究2では、韓国のKYRBSの概要と質問項目について調査し、今後の青少年の薬物に関するモニタリング調査の国際連携の可能性について検討できた。研究3では、日本や諸外国における青少年の薬物使用状況に関する基礎資料を作成し、薬物乱用防止教育用の啓発資料の作成に貢献できた。今後もアジア諸国内における国際連携を推進し、薬物使用状況や課題に関する情報共有の円滑化やモニタリング体制の構築を進めていく。

謝辞

本研究に関して調査協力をいただきました、Kanittha Thaikla 先生、および Chaisiri Angkurawaranon 先生（タイ国立チェンマイ大学）、並びに Subin Park 先生（韓国国立精神保健研究所）に心から感謝いたします。

F. 参考文献

- 1) 和田清, 嶋根卓也: 「危険ドラッグ」を含む薬物乱用・依存に関する国際比較研究. 平成28年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業: 「危険ドラッグを含む薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究(研究代表者: 嶋根卓也)」総括: 分担研報告書, pp137-

- 149, 2017.
- 2) Shimane T, Qiu D, Wada K. Current situation of cannabis use in Japan: Based on data from the nationwide general population survey on drug use in Japan 2017. *Yakugaku Zasshi*. 2020;140(2):173-178.
 - 3) 嶋根卓也, 猪浦智史, 邱冬梅, 和田清: 薬物使用に関する全国住民調査 (2019年). 令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究 (研究代表者: 嶋根卓也)」分担研究報告書, pp19-120, 2018.
 - 4) Angkurawaranon C, Jiraporncharoen W, Likhitsathian S, Thaikla K, Kanato M, Perngparn U, Assanangkornchai S, Aramrattana A: Trends in the use of illicit substances in Thailand: Results from national household surveys. *Drug Alcohol Rev*.2018;37(5):658-663.
 - 5) Poshyachinda V, Na Ayudhya AS, Aramrattana A, Kanato M, Assanangkornchai S, Jitpiromsri S. Illicit substance supply and abuse in 2000-2004: an approach to assess the outcome of the war on drug operation. *Drug Alcohol Rev* 2005; 24: 461-6.
 - 6) THAILAWFORUM: Summary of Thailand's New Medical Marijuana Law: Drug Abuse Act (No.7) BE 2562; Available from: <http://www.thailawforum.com/drug-abuse-act-no-7-be-2562-summary-legalization-of-medical-marijuana-in-thailand/>
 - 7) 嶋根卓也, 猪浦智史, 北垣邦彦, 立森久照, 邱冬梅, 和田清: 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査. 平成30年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「薬物乱用・依存状態等のモニタリング調査と薬物依存者・家族に対する回復支援に関する研究 (研究代表者: 嶋根卓也)」総括: 分担研究報告書. pp19-73, 2019.
 - 8) 嶋根卓也, 猪浦智史, 北垣邦彦, 和田清, 松本俊彦: 薬物使用と生活に関する全国高校生調査 2018. 令和元年度厚生労働省依存症に関する調査研究事業「わが国の青少年における薬物乱用・依存に関する実態調査およびデータ・アーカイブに関する研究 (研究代表者: 嶋根卓也)」研究報告書, pp1-53, 2019.
 - 9) Johnston LD, Miech RA Patrick, O'Malley PM, Bachman JG, Schulenberg JE, Patrick ME: Monitoring the future national survey results on drug use 1975-2019: Overview key findings on adolescent drug use; Available from: https://cdn.ymaws.com/www.fadaa.org/resource/resmgr/files/resource_center/mtf-overview2019.pdf
 - 10) ESPAD Report 2019: Results from the European School Survey Project on Alcohol and Other Drugs; Available from: https://www.emcdda.europa.eu/publications/joint-publications/espad-report-2019_en
 - 11) Park, S., Kim, Y. Prevalence, correlates, and associated psychological problems of substance use in Korean adolescents. *BMC Public Health*. 16, 79 (2015). <https://doi.org/10.1186/s12889-016-2731-8>
 - 12) Fen LY, Wada K, Chung H, Han E, Li JH: Comparison of legislative management for new psychoactive substances control among Taiwan, South Korea, and Japan. *Kaohsiung J Med Sci*. 36: 135-142, 2020.
 - 13) Kwon NJ, Han E: A commentary on the effects of methamphetamine and the status of methamphetamine abuse among youths in South Korea, Japan, and China. *Forensic Science International*. 286: 81-85, 2018.
 - 14) Chung H., Park M, Hahn E, Choi H, Lim

- M: Rescent trends of drug abuse and drug-associated deaths in Korea. *Ann. N.Y. Acad. Sci.* 1025: 458–464 (2004).
- 15) The Korean Herald: Is Korea's drug policy working?; Available from: <http://www.koreaherald.com/view.php?ud=20120820000611>
 - 16) Yun M, Kim E: Illicit drug use among south korean offenders: assessing the generality of social learning theory. 59(11): 1166-1187, 2015.
 - 17) The Korean Herald: South Korea being used as transit hub for smugglers; Available from: <http://www.koreaherald.com/view.php?ud=20201013000791>
 - 18) Han SL: Number of drug addicts reached 77,000 in past 5 years; Korean Biomedical Review: Available from http://www.koreabiomed.com/news/article_View.html?idxno=6301
 - 19) 藤原夏人: 立法情報 韓国 医療目的による大麻使用の合法化. 外国の立法. 月刊版: 立法情報・翻訳・解説 (279-2), 18-21, 2019-05.
 - 20) The Korea Disease Control and Prevention Agency Available from: <http://www.kdca.go.kr/yhs/>
 - 21) Kim Y, Choi S, Chun C, Park S, Khang YH, Oh Kyungwon: Data Resource Profile: The Korean Youth Risk Behavior Web-based Survey (KYRBS). *International Journal of Epidemiology*.2016,1076–1076e.
 - 22) Bangkok: World Health Organization, Thailand Country Office. Thailand 2015 Global School-Based Student Health Survey.; 2017. Licence: CC BY-NC-SA 3.0 IGO; Available from: <https://www.who.int/ncds/surveillance/gshs/Thailand-GSHS-2015-Report.pdf?ua=1>
 - 23) Guerin, N. & White, V., ASSAD 2017 Statistics & Trends: Australian Secondary Students' Use of Tobacco, Alcohol, Over-the-counter Drugs, and Illicit Substances. Second Edition. Cancer Council Victoria, 2020; Available from: <https://www.health.gov.au/sites/default/files/documents/2020/07/secondary-school-students-use-of-tobacco-alcohol-and-other-drugs-in-2017.pdf>
 - 24) UNODC. World drug report 2020: Drug use and health consequences. United Nations publication, Sales No. E.20.XI.6); Availabe from: <https://wdr.unodc.org/wdr2020/en/drug-use-health.html>
 - 25) UNODC. World drug report 2020: Drug supply. United Nations publication, Sales No. E.20.XI.6); Availabe from: <https://wdr.unodc.org/wdr2020/en/drug-supply.html>
- G. 研究発表**
1. 論文発表
 - 1) Inoura S, Shimane T, Kitagaki K, Wada K, Matsumoto T. Parental drinking according to parental composition and adolescent binge drinking: findings from a nationwide high school survey in Japan. *BMC Public Health*. 2020;20(1):1878. <http://doi.org/10.1186/s12889-020-09969-8>
 2. 学会発表
 - 1) 猪浦智史、加藤隆、嶋根卓也: 薬物依存症回復支援施設における生活習慣病予防教室の試み. 第55回日本アルコール・アディクション医学会学術総会, Web, 2020.11-22-23.
- H. 知的財産権の出願・登録状況**
- 特許取得、実用新案登録、その他
特になし

表 1. タイ住民調査 2019 の結果

	全体		男性		女性	
	%	(95%CI)	%	(95%CI)	%	(95%CI)
飲酒						
生涯	47.6	(46.9-48.3)	60.9	(60.0-61.8)	34.4	(33.4-35.3)
過去1年	31.8	(31.2-32.4)	43.6	(42.7-44.6)	20.0	(19.2-20.8)
過去30日	22.4	(21.9-23.0)	33.1	(32.2-34.0)	11.8	(11.2-12.4)
喫煙						
生涯	18.9	(18.4-19.5)	32.5	(31.6-33.4)	5.39	(4.96-5.85)
過去1年	16.0	(15.4-16.5)	27.2	(26.3-28.1)	4.12	(3.72-4.56)
過去30日	15.3	(14.8-15.9)	26.5	(25.6-27.4)	3.72	(3.34-4.14)
エナジードリンク使用						
過去30日	7.81	(7.37-8.27)	11.9	(11.1-12.7)	3.71	(3.28-4.20)
薬物使用 (生涯)						
有機溶剤	0.35	(0.27-0.46)	0.58	(0.43-0.79)	0.12	(0.08-0.21)
大麻	2.55	(2.34-2.79)	3.94	(3.56-4.36)	1.16	(0.97-1.39)
覚醒剤	2.34	(2.14-2.57)	3.43	(3.08-3.82)	1.25	(1.04-1.50)
MDMA(Ecstasy)	0.23	(0.16-0.32)	0.28	(0.17-0.45)	0.18	(0.11-0.28)
コカイン	0.12	(0.07-0.20)	0.21	(0.11-0.39)	0.02	(0.01-0.07)
ヘロイン	0.25	(0.18-0.37)	0.43	(0.28-0.65)	0.08	(0.04-0.15)
何れかの薬物	5.46	(5.15-5.79)	8.43	(7.89-8.99)	2.50	(2.20-2.83)
薬物使用 (過去1年)						
有機溶剤	0.11	(0.08-0.16)	0.18	(0.12-0.27)	0.04	(0.02-0.09)
大麻	0.83	(0.70-0.99)	1.12	(0.89-1.39)	0.55	(0.42-0.72)
覚醒剤	0.93	(0.80-1.08)	1.19	(0.99-1.44)	0.66	(0.52-0.84)
MDMA(Ecstasy)	0.14	(0.08-0.24)	0.21	(0.11-0.41)	0.07	(0.04-0.14)
コカイン	0.02	(0.01-0.04)	0.03	(0.01-0.08)	—	—
ヘロイン	0.13	(0.06-0.26)	0.20	(0.08-0.47)	0.06	(0.03-0.13)
何れかの薬物	2.21	(2.02-2.42)	3.31	(2.98-3.68)	1.11	(0.94-1.31)
鎮痛薬 (医療目的外使用)						
過去1年	67.2	(66.6-67.8)	67.2	(66.3-68.1)	67.2	(66.3-68.1)
過去30日	1.83	(1.66-2.01)	1.94	(1.71-2.20)	1.72	(1.49-1.98)
睡眠薬 (医療目的外使用)						
過去1年	0.30	(0.22-0.41)	0.33	(0.20-0.54)	0.27	(0.18-0.39)
過去30日	0.18	(0.11-0.28)	0.21	(0.11-0.42)	0.14	(0.08-0.25)
薬物依存症治療経験 (経験)						
回答者全体(n=32,145)	0.41	(0.32-0.53)	0.66	(0.49-0.87)	0.17	(0.10-0.29)
生涯薬物経験者(n=1,738)	4.29	(3.20-5.74)	3.83	(2.75-5.31)	5.87	(3.23-10.4)

(—) : 該当者なし

表 2. タイと日本における薬物使用経験の比較

	タイ		日本	
	%	(95%CI)	%	(95%CI)
薬物使用（生涯）				
有機溶剤	0.35	(0.27-0.46)	1.09	(0.80-1.48)
大麻	2.55	(2.34-2.79)	1.81	(1.40-2.35)
覚醒剤	2.34	(2.14-2.57)	0.39	(0.21-0.73)
MDMA (Ecstasy)	0.23	(0.16-0.32)	0.30	(0.15-0.59)
コカイン	0.12	(0.07-0.20)	0.34	(0.17-0.67)
ヘロイン	0.25	(0.18-0.37)	0.13	(0.00-0.41)
薬物使用（過去1年）				
有機溶剤	0.11	(0.08-0.16)	0.11	(0.00-0.38)
大麻	0.83	(0.70-0.99)	0.10	(0.05-0.24)
覚醒剤	0.93	(0.80-1.08)	0.04	(0.00-0.17)
MDMA (Ecstasy)	0.14	(0.08-0.24)	0.04	(0.01-0.09)
コカイン	0.02	(0.01-0.04)	0.04	(0.01-0.09)
ヘロイン	0.13	(0.06-0.26)	0.04	(0.00-0.16)

Draft – Result**The use of illicit substances in Thailand: Results from national household surveys 2019.**

Kanittha Thaikla, Manop Kanato, Sawitri Assanangkornchai, Sayamol Charangrat, Kriengkrai Peungchuer, Sayamol Charoenratana, Chitlada Areesantichai

DESIGN AND METHODS:

National Household surveys on illicit drug use were conducted in 2019. A stratified multi-stage cluster random sampling technique was implemented for each survey. Provinces in four regions were systematically selected using a probability proportionate to the size of the targeted population. Participants were interviewed using structured questionnaires on their history of substance use.

Analysis

Sample weights were calculated following each round of the survey based on the probability of being selected within each stratum. These weights were assigned to the response so that the number of illicit drug users and prevalence of drug use could be estimated.

Results**Demographic**

	n	/1000 populations
Gender		
male	25,138,475	499.85
female	25,153,954	500.15
Ages		
12-19 Yrs	4,761,271	94.67
20-24 Yrs	3,172,274	63.08
25-44 Yrs	16,632,540	330.72
45-65 Yrs	25,724,163	511.49
The highest level of education		
Never attended school	784,329.24	15.60
Primary school	18,505,453.10	367.96
Secondary school	9,304,039	185.00
High school	7,700,366	153.11
Vocational/Diploma	5,937,360	118.06
Bachelor or above	6,837,186	135.95
Other	570,648	11.35
Occupation		
No occupation (Retire, Priest, Unemployed etc.)	5,878,325	116.88
Managers, Chief executives, Legislators	471,875	9.38
Professionals (Medical doctors, Nurse, Engineer, Scientist, Teacher, Financial, Analyst, Artist etc.)	1,587,288	31.56
Student	5,404,517.05	107.46

Technicians and associate professionals (Dental Assistant, Warden, Police officer, Actor etc.)	508,826	10.12
Clerical support workers (Customer service clerk, Receptionist etc.)	3,201,728	63.66
Service and sales workers (Chef, Model, Barber, Fortune teller, Personal care worker, Cashier etc.)	1,624,490	32.30
Skilled agricultural, forestry and fishery workers	5,809,390	115.51
Craft and related trades workers (Toolmaker, Molder, Welder, Electrical installer etc.)	2,486,366	49.44
Plant and machine operators and assemblers (Driver, Mobile plant operator etc.)	2,013,029	40.03
Elementary occupations (Cleaner, Mining labourer, Street vendor, Manufacturing labourer etc.)	14,799,078	294.26
Others (Armed forces etc.)	6,150,250	122.29

Alcohol Behaviors

Have you ever drink alcohol	n	/1000 populations
No	26,340,071	523.74
Yes , drink in the last 12 months	15,784,416	313.85
Yes, but never drink in the last 12 months	8,167,941	162.41

How old were you the first time you had drink alcohol	n	/1000 populations
Age 9 or earlier	712,997	14.18
Age 10–11	591,191	11.76
12–13	667,739	13.28
14–15	2,492,472	49.56
16–17	2,848,110	56.63
18–19	4,208,061	83.67
Age 20 or later	7,576,803	150.65

During the last 30 days, have you drink alcohol	n	/1000 populations
No	6,580,441	130.84
Daily (7 days a week)	1,475,407	29.34
Almost daily (5 - 6 days/week)	986,278	19.61
3 - 4 days/week	1,736,745	34.53
Weekly (1 - 2 days/week)	2,450,162	48.72
Monthly (1 - 3 days/month)	4,634,806	92.16

NON-MEDICAL USE

NON-MEDICAL USE	n	/1000 populations
Analgesic (NON-MEDICAL USE)		
Use in the past year	2,453,165	48.78
Use in the past 30 days,	778,144	15.47
Sleeping Pill or Sedatives		
Use in the past year	343,503	6.83
Use in the past 30 days,	74,469	1.48

	n	/1000 populations
Tobacco/Cigarettes		
Ever used	9,522,134	189.34
Use in the past year	7,046,710	140.11
Use in the past 30 days,	6,691,439	133.05

Age onset Tobacco/Cigarettes	n	/1000 populations
Age 9 or earlier	24,676	0.49
Age 10–11	113,638	2.26
12–13	509,797	10.14
14–15	1,763,886	35.07
16–17	1,494,072	29.71
18–19	2,321,330	46.16
Age 20 or later	3,086,498	61.37

Energy drinks

	n	/1000 populations
energy drinks		
Ever used	9,688,800	192.65
Use in the past year	5,935,969	118.03
Use in the past 30 days,	3,339,426	66.40
In the past 30 days, on how many days have you consumed energy drinks		

	n	/1000 populations
1–2 days	869,596	17.29
3–5 days	581,375	11.56
6–9 days	1,946,792	38.71
10–19 days	500,955	9.96
20–29 days	169,079	3.36
Everyday	952,728	18.94

The use of illicit substances

	LIFETIME		past year		past 30 days	
	n	/1000 populations	n	/1000 populations	n	/1000 populations
Any Drugs	857,229	199.39	313,014	72.81	197,351	45.90
Kratom	1,605,040	31.91	490,704	9.76	305,408	6.07
Cannabis	1,703,299	33.87	668,157	13.29	503,021	10.00
Opium	155,600	3.09	33,437	0.66	23,991	0.48
Ecstasy	311,134	6.19	220,777	4.39	112,256	2.23
Ketamine	228,122	4.54	126,453	2.51	75,411	1.50
Cocaine	79,395	1.58	32,523	0.65	12,812	0.25
Heroin	192,824	3.83	93,101	1.85	61,522	1.22
Volatile	299,353	5.95	101,875	2.03	28,074	0.56
YABA	1,605,975	31.93	652,873	12.98	334,940	6.66
ICE	766,195	15.23	372,294	7.40	201,908	4.01

Draft-Result

The use of substance in Japan: Results from a nationwide general population national survey 2019.

Takuya Shimane, Satoshi Inoura, Dongmei Qiu, Kiyoshi Wada

OBJECTIVE

A nationwide general population survey on drug use were conducted to examine the current situation of drug use, including alcohol, tobacco, and medications, in Japan. The findings will be provided as basic data for a drug abuse prevention strategy. This survey is the only monitoring survey on drug use conducted for the general population in Japan. Since the first nationwide survey in 1995, this series of surveys has been conducted every other year, and this survey is the 13th one.

DESIGN AND METHODS:

This survey was conducted in September–November 2019. We sampled a total of 7,000 individuals aged 15–64 years from Japan's Basic Resident Registration system, using a two-stage stratified random sampling method. A self-administered questionnaire was distributed to each individual selected and then they were collected. The study protocol was reviewed and approved by the Ethics Committees of the National Center of Neurology and Psychiatry.

Sampling

The sampling method is outlined as follows.

- 1) All 47 prefecture of Japan were divided into the 11 geographic areas.
- 2) Each of the 11 areas was further stratified in to five community sizes with a total of 65 strata.
- 3) The 7,000 individuals sampled were distributed to each of the above 65 strata proportional to the population density so as to have 19-31 samples per survey spots.
- 4) The survey spot selected to conduct the 2015 National Census were used as primary sampling unit, and survey spots (enumeration districts) were randomly selected.
- 5) The target population from each survey spot (enumeration districts) was randomly selected from the Basic Resident Register using equal-interval sampling method.

Analysis

For items such as prevalence of drug use and the number of drug users, estimates (point and interval estimates), which were adjusted based on the total number of survey spots included in each stratum and in the population aged 15 years or older in each survey spot, were calculated using IBM SPSS complex samples.

Results

1. Estimated Prevalence of Substance Use in Japan 2019

Table. 1 Estimated lifetime prevalence of drug use by sex (n=3,945)

	Drug use (Lifetime)					
	Overall		Men		Women	
	%	95%CI	%	95%CI	%	95%CI
Inhalants(Organic solvents)	1.1	(0.8-1.5)	1.8	(1.3-2.6)	0.4	(0.2-0.9)
Cannabis	1.8	(1.4-2.3)	2.5	(1.8-3.5)	1.2	(0.8-1.8)
Methamphetamine	0.4	(0.2-0.7)	0.7	(0.4-1.4)	0.1	(0.0-0.4)
MDMA(Ecstasy)	0.3	(0.2-0.6)	0.5	(0.2-1.1)	0.1	(0.0-0.4)
Cocaine	0.3	(0.2-0.7)	0.6	(0.3-1.3)	0.1	(0.0-0.5)
Heroin	0.1	(0.0-0.4)	0.3	(0.0-0.9)	-	
NPSs	0.3	(0.2-0.6)	0.5	(0.3-1.2)	0.1	(0.0-0.4)
LSD	0.3	(0.2-0.6)	0.4	(0.2-1.0)	0.2	(0.0-0.6)
Any drug	2.5	(2.0-3.1)	3.5	(2.7-4.7)	1.5	(1.0-2.2)

Table. 2 Estimated past-year prevalence of drug use by sex (n=3,945)

	Drug use (Past year)					
	Overall		Men		Women	
	%	95%CI	%	95%CI	%	95%CI
Inhalants(Organic solvents)	0.11	(0.00-0.38)	0.22	(0.00-0.79)	-	
Cannabis	0.10	(0.05-0.24)	0.16	(0.07-0.37)	0.06	(0.00-0.41)
Methamphetamine	0.04	(0.00-0.17)	0.09	(0.00-0.36)	-	
MDMA(Ecstasy)	0.04	(0.01-0.09)	0.07	(0.03-0.19)	-	
Cocaine	0.04	(0.01-0.09)	0.07	(0.03-0.19)	-	
Heroin	0.04	(0.00-0.16)	0.08	(0.00-0.33)	-	
NPSs	0.04	(0.01-0.09)	0.07	(0.03-0.19)	-	
LSD	0.04	(0.01-0.09)	0.07	(0.03-0.19)	-	
Any drug	0.24	(0.12-0.49)	0.44	(0.20-0.94)	0.06	(0.00-0.41)

SPSS Complex Samples were used to estimate point and interval estimates (95%CI : 95% confidence intervals).

(-) : Not respondents

NPSs: New psychoactive substances

Table. 3 Estimated past-year prevalence of analgesic and sleeping pill use by sex (n=3,945)

	Analgesics and sleeping pills use					
	Overall		Men		Women	
	%	95%CI	%	95%CI	%	95%CI
Analgesics (Medecal use)						
Past year	63.1	(61.3-64.8)	51.1	(48.6-53.5)	74.2	(71.8-76.4)
Past 30 days	31.7	(30.1-33.3)	20.6	(18.8-22.6)	41.8	(39.3-44.4)
Sleeping pills (Medecal use)						
Past year	6.7	(5.9-7.6)	6.6	(5.5-7.8)	6.8	(5.6-8.1)
Past 30 days	4.2	(3.6-5.0)	4.0	(3.2-5.0)	4.5	(3.5-5.6)

Table. 4 Estimated past-year prevalence alcohol/tobacco/Energy drink use by sex (n=3,945)

	Alcohol, Tobacco and Energy drink use					
	Overall		Men		Women	
	%	95%CI	%	95%CI	%	95%CI
Alcohol						
Lifetime	92.5	(91.4-93.5)	92.2	(90.5-93.6)	92.8	(91.6-93.9)
Past year	78.2	(76.6-79.7)	81.8	(79.8-83.7)	74.9	(72.6-77.0)
Past 30 days	64.2	(62.6-65.8)	71.2	(69.0-73.3)	57.8	(55.6-60.0)
Tobacco						
Lifetime	58.7	(56.8-60.7)	71.5	(68.9-74.0)	47.0	(44.3-49.7)
Past year	24.9	(23.2-26.6)	35.4	(32.9-38.0)	15.2	(13.3-17.2)
Past 30 days	22.6	(20.9-24.3)	32.6	(30.1-35.1)	13.3	(11.6-15.3)
Energy drinks						
Past 30 days	19.9	(18.6-21.3)	27.5	(25.2-29.8)	13.0	(11.6-14.6)

SPSS Complex Samples were used to estimate point and interval estimates (95%CI : 95% confidence intervals).

Korean Youth Risk Behavior Web-based Survey (KYRBS) 2014

※飲酒、喫煙、その他薬物使用に関する質問項目のみ抜粋し、以下に記載する。

<飲酒に関する質問項目>

1. 今まで 1杯 以上お酒を飲んだことがありますか?

※祭祀や茶禮[祖先を祀る行事]または聖餐式(宗教儀式)の時に数口飲んだことを除きます。

- ① ない → 8番
② ある → 2番

[1番の問いに②番と回答した人]

2. 初めて1杯 以上お酒を飲んだ時はいつですか?

※祭祀や茶禮[祖先を祀る行事]または聖餐式(宗教儀式)の時に数口飲んだことを除きます。

- ① 小学校 入学前、② 小学校 1年生、③ 小学校 2年生、④ 小学校 3年生、⑤ 小学校 4年生、⑥ 小学校 5年生
⑦ 小学校 6年生、⑧ 中学校 1年生、⑨ 中学校 2年生、⑩ 中学校 3年生、⑪ 高等学校 1年生、⑫ 高等学校 2年生
⑬ 高等学校 3年生

[1番の問いに②番と回答した人]

3. 最近 30日間に、 1杯 以上お酒を飲んだ日は何日ありますか?

- ① 最近 30日間 にはない → 7番
② 月 1～2日 → 4番
③ 月 3～5日 → 4番
④ 月 6～9日 → 4番
⑤ 月 10～19日 → 4番
⑥ 月 20～29日 → 4番
⑦ 毎日 → 4番

[3番の問いに②～⑦番と回答した人]

4. 最近 30日間に、 お酒を飲んだ時の平均の量はどれくらいですか?

- ① 焼酎 1～2杯(ビール 1本 以下)
② 焼酎 3～4杯(ビール 2本、洋酒 3杯)
③ 焼酎 5～6杯(ビール 3本、洋酒 5杯)
④ 焼酎 1本～2本未満(ビール 4本、洋酒 6杯)
⑤ 焼酎 2本 以上(ビール 8本、洋酒 12杯)

[3番の問いに②～⑦番と回答した人]

5. 最近 12か月間に、 次の経験をしたことがありますか?

	①ない	②ある
1) ストレスをほぐすために、または付き合いのためにお酒を飲んだ経験		
2) 一人でお酒を飲んだ経験		
3) 家族や友人からお酒を減らせと忠告された経験		
4) お酒を飲んでバイクや自転車の運転をしたりお酒を飲んだ人が運転するバイクや自転車、自動車に乗った経験		
5) お酒を飲んで記憶がなくなった経験		
6) お酒を飲んで、人にかからんだ経験		

[3番の問いに②~⑦番と回答した人]

6. 最近 30日間に、 あなたが飲んだお酒をどのようにして入手しましたか?(主な方法を一つだけ選択)
- ① 最近 30日間にお酒を入手しようとしたことはない
 - ② 自宅、友人の家にあるお酒を飲んだ
 - ③ コンビニ、お店などで買った
 - ④ インターネットカフェ、個室ビデオ、カラオケで注文した
 - ⑤ レストラン、焼酎専門店、ビアホール、ナイトクラブなど飲み屋で注文した
 - ⑥ 大人からもらって飲んだ
7. 最近 30日間に、 コンビニやお店などでお酒を買うにあたってどのようにしましたか?
- ① 最近 30日間にお酒を買おうとしたことがない
 - ② お酒を買うことが不可能だった
 - ③ かなり努力すれば買えた
 - ④ 少しだけ努力すれば買えた
 - ⑤ 努力しなくても簡単に買えた
8. 最近 12か月間に、 学校で(授業時間、放送教育、講堂での教育など全て含む) お酒(アルコール)に関する教育を受けたことがありますか?
- ① 最近 12か月間にはない、② 最近 12か月間にはある

<喫煙に関する質問項目>

9. 今まで タバコを一口か二口でも吸ってみたことがありますか?
- ① ない → 17番
 - ② ある → 10番

[9番の問いに②番と回答した人]

10. 初めてタバコを一口、二口でも吸ってみたのはいつでしたか?
- ① 小学校 入学前、② 小学校 1年生、③ 小学校 2年生、④ 小学校 3年生、⑤ 小学校 4年生、⑥ 小学校 5年生
 - ⑦ 小学校 6年生、⑧ 中学校 1年生、⑨ 中学校 2年生、⑩ 中学校 3年生、⑪ 高等学校 1年生、⑫ 高等学校 2年生
 - ⑬ 高等学校 3年生

[9番の問いに②番と回答した人]

11. 初めてタバコを吸うことになった主な理由は何ですか?
- ① 好奇心から
 - ② 友人の勧めで
 - ③ 先輩、兄(妹から見た兄)、姉(妹から見た姉)の勧めで
 - ④ ストレスをほぐすために
 - ⑤ 友人たちとの付き合いのために
 - ⑥ その他

[9番の問いに②番と回答した人]

12. 最近 30日間に、 タバコを一服(一本)でも吸った日は何日ありますか?
- ① 最近 30日間には ない → 17番
 - ② 月 1~2日 → 13番
 - ③ 月 3~5日 → 13番
 - ④ 月 6~9日 → 13番
 - ⑤ 月 10~19日 → 13番
 - ⑥ 月 20~29日 → 13番
 - ⑦ 毎日 → 13番

[12番の問いに⑦番と回答した人]

13. タバコを毎日吸うようになったのはいつ頃でしたか?
- ① 小学校 入学前、② 小学校 1年生、③ 小学校 2年生、④ 小学校 3年生、⑤ 小学校 4年生、⑥ 小学校 5年生
 - ⑦ 小学校 6年生、⑧ 中学校 1年生、⑨ 中学校 2年生、⑩ 中学校 3年生、⑪ 高等学校 1年生、⑫ 高等学校 2年生
 - ⑬ 高等学校 3年生

[12番の問いに②~⑦番と回答した人]

14. 最近 30日間に、タバコを一日に平均何本吸いましたか?
- ① 1本未満/1日、② 1本/1日、③ 2~5本/1日、④ 6~9本/1日、⑤ 10~19本/1日、⑥ 20本以上/1日
15. 最近 30日間に、主にどこでタバコを吸いましたか?(よく行く場所を一つだけチェック)
- ① 自宅、友人の家
 - ② 学校
 - ③ 遊び場、空地、山や野原、公園、道端
 - ④ インターネットカフェ、個室ビデオ、カラオケ
 - ⑤ 飲み屋、ナイトクラブ、屋台

[14番の問いに②~⑦番と回答した人]

16. 最近30日間に、あなたが吸ったタバコは主にどのようにして入手しましたか?(主な方法を一つだけ選択)
- ① 自宅、友人の家にあるタバコを吸った
 - ② コンビニ、お店などで自分で買って吸った
 - ③ 友人、先輩にもらって吸った
 - ④ 大人からもらって吸った
 - ⑤ 身の回り(道端など)で拾って吸った
17. 最近 30日間で、コンビニやお店でタバコを買う時どのようにしましたか?
- ① 最近30日間はタバコを買おうとしたことがない
 - ② タバコを買うことが不可能だった
 - ③ かなり努力すれば買えた
 - ④ 少しだけ努力すれば買えた
 - ⑤ 努力しなくても簡単に買えた

[12番の問いに②~⑦番と回答した人]

18. 最近 12か月間に、禁煙しようとしたことがありますか?
- ① 最近 12か月間にはない →20番
 - ② 最近 12か月間にはある →19番

[18番の問いに②番と回答した人]

19. 禁煙しようとする主な理由は何ですか?
- ① 喫煙したら体の具合が悪くなったので(痰、咳、息切れ、歯にヤニが付くなど)
 - ② 健康に悪い影響を与えそうなので
 - ③ 親や教師など周りの大人が嫌がるので
 - ④ 友人が嫌がるので
 - ⑤ 体から臭いがするので
 - ⑥ タバコ代が高すぎて(お金がない、またはお金を節約するために)
 - ⑦ 青少年の喫煙は社会的に容認されないので
 - ⑧ その他

20. 最近 12か月間で、 次の禁煙に関する広告を見聞きしたことがありますか?(複数選択可能)
- ① 禁煙 に関する広告を見聞きしたことがない
 - ② TVの禁煙広告
 - ③ ラジオの禁煙広告
 - ④ 禁煙 に関するTV 番組及びニュース
 - ⑤ インターネットの禁煙広告
 - ⑥ 新聞記事及び広告
 - ⑦ 地下鉄、バス停留所の広告
21. 最近 7日間に、 あなたの家庭で 他の人(家族やお客など)がタバコを吸う時その近くに一緒にいたことが何日ありますか?
- ① 最近 7日間にはない、② 週 1日、③ 週 2日、④ 週 3日、⑤ 週 4日、⑥ 週 5日、⑦ 週 6日、⑧ 毎日
22. 家族の中で現在タバコを吸っている人は全てチェックしてください。 .
- ① ない、② 父、③ 母、④ 兄弟姉妹、⑤ 祖父母、⑥ その他、⑦ よく知らない
23. 親しい友人の中でタバコを吸う友人がいますか?
- ① 誰も吸っていない
 - ② 何人かはタバコを吸う
 - ③ ほとんどがタバコを吸う
 - ④ 全員タバコを吸う
24. 最近 30日間に、 学校内の建物の外で教師及び学校職員がタバコを吸っているのを見たことがありますか?
- ① ない、② 入っている
25. 最近 12か月間に、 学校で(授業時間、放送教育、講堂での教育など全て含む)喫煙予防及び禁煙教育を受けたことがありますか?
- ① 最近 12か月間にはない、② 最近 12か月間にはある
26. 今まで 電子タバコを吸ったことがありますか?
- ① ない → 28番
 - ② ある → 27番

[26番の問いに②番と回答した人]

27. 最近 30日間に、 電子タバコを吸ったことがありますか?
- ① ない、② 入っている
28. お酒を飲んでから性関係を持ったことがありますか?
- ① ない、② 入っている

<その他薬物に関する質問項目>

29. 今まで 習慣的に、または故意に薬物を飲んだりブタンガス、ボンドなどを吸ったりしたことがありますか?
 ① ない
 ② ある → 30番

[29番の問いに②番と回答した人]

30. 気分の変化や幻覚などの経験、過度なダイエットなどを目的にブタンガス、ボンドをはじめとして、覚せい剤、ヒロポン、アンフェタミン、麻薬、多量の咳止め薬、精神安定剤などを飲んだり吸ったりしたことがありますか?
 ① ない
 ② 以前に薬物を使用したことがあるが、最近では使用していない → 31番
 ③ 最近もときどき薬物を使用する → 31番

[30番の問いに②、③番と回答した人]

31. 今まで経験した薬物を全て選択しなさい。

吸入剤	ブタンガス ボンド シンナー ニス ライターガス
覚せい剤(眠くならない薬)	タイミン グ ナイトSS エスナイン レクリン
精神安定剤	バリウム[ジアゼパムの商品名] アチバン ザナックス
多量の咳止め薬	ロミナ ルビーキング エス錠 ジノルタ
食欲抑制剤(痩せ薬)	プリンガ ラシックス
大麻草	大麻草
アンフェタミン	ヒロポン
その他幻覚剤	ケタミン LSD エクスタシー トリドリ ゴメオ クラトム アイス
コカイン	コカイン
アヘン系	生アヘン モルヒネ デメロール ヌバイン[ナルブフィン塩酸塩] ケシエキス
その他	

[31番の回答者]

32. 薬物のうち初めて使用した薬物は何ですか?(一つだけ選びなさい)
 ⇒ 95番の問いで選択した薬物だけが表示され、そのうち一つだけ選択が可能

[30番の問いに②、③番と回答した人]

33. 薬物を繰り返し使用する理由は何ですか?(複数選択可能)
 ① 薬物使用後に気分がよくなる感じがあるので薬物を使用する
 ② 薬物を使用しないと憂鬱になったり怒りっぽくなったりして、不安になるため薬物を使用する
 ③ 友人と付き合うために薬物を使用する
 ④ 特別変わった感じはしないが、何となく習慣的に薬物を使用する
 ⑤ 痩せる目的で薬物を使用する

Korean Youth Risk Behavior Web-based Survey (KYRBS) 2019

※飲酒、喫煙、その他薬物使用に関する質問項目のみ抜粋し、以下に記載する。

<飲酒に関する質問項目>

1. 今まで 1杯 以上 お酒を飲んだことがありますか？

※祭祀や茶禮[祖先を祀る行事]または聖餐式(宗教儀式)の時に数口飲んだことを除きます。

- ① ない → 1番
- ② ある → 6番

[1番の問いに ②番と 回答した人]

2. 初めて 1杯 以上お酒を飲んだ時はいつですか？

※祭祀や茶禮[祖先を祀る行事]または聖餐式(宗教儀式)の時に数口飲んだことを除きます。

- ① 小学校 入学前、② 小学校 1年生、③ 小学校 2年生、④ 小学校 3年生、⑤ 小学校 4年生、⑥ 小学校 5年生
- ⑦ 小学校 6年生、⑧ 中学校 1年生、⑨ 中学校 2年生、⑩ 中学校 3年生、⑪ 高等学校 1年生、⑫ 高等学校 2年生
- ⑬ 高等学校 3年生

[1番の問いに ②番と 回答した人]

3. 最近 30日間で、1杯 以上 お酒を飲んだ日は何日ありますか？

- ① 最近 30日間にはない → 6番
- ② 月 1～2日 → 4番
- ③ 月 3～5日 → 4番
- ④ 月 6～9日 → 4番
- ⑤ 月 10～19日 → 4番
- ⑥ 月 20～29日 → 4番
- ⑦ 毎日 → 4番

[3番の問いに ②～⑦番と 回答した人]

4. 最近 30日間で、お酒を飲む時の平均量はどれくらいですか？

- ① 焼酎 1～2杯(ビール 1本以下)
- ② 焼酎 3～4杯(ビール 2本、洋酒 3杯)
- ③ 焼酎 5～6杯(ビール 3本、洋酒 5杯)
- ④ 焼酎 1本～2本 未満(ビール 4本、洋酒 6杯)
- ⑤ 焼酎 2本 以上(ビール 8本、洋酒 12杯)

[3番の問いに ②～⑦番と 回答した人]

5. 最近 30日間で、失神したり記憶がなくなったりするほどお酒を飲んだ日は 何日ありますか？

- ① 最近 30日間にはない、② 月 1～2日、③ 月 3～4日、④ 月 5日以上

6. 最近 30日間で、 コンビニやお店などでお酒を買おうとした時どうしましたか？

- ① 最近 30日間は、お酒を買おうとしたことがない
- ② お酒を買うことが不可能だった
- ③ かなり努力すれば買えた
- ④ 少しだけ努力すれば買えた
- ⑤ 努力しなくても簡単に買えた

<喫煙に関する質問項目>

次は喫煙に関する質問です。普通のタバコ(紙巻タバコ)、液状タイプ電子タバコ、紙巻タイプ電子タバコ(アイコス、グロー、リールなどの)順に質問するので順番に回答してください。

7. これまでに 普通のタバコ(紙巻タバコ)を一口、二口でも吸ったことがありますか？

- ① ない → 9番
- ② ある → 8番

[7番の問いに ②番と 回答した人]

8. 最近 30日間に、 普通のタバコ(紙巻タバコ)を一本でも吸った日は何日ありますか？

- ① 最近 30日間にはない、② 月 1~2日、③ 月 3~5日、④ 月 6~9日、⑤ 月 10~19日、⑥ 月 20~29日、⑦ 毎日

9. これまでにニコチンが含まれた液状タイプ電子タバコを使用したことがありますか？

- ① ない → 11番
- ② ある → 10番

[9番の問いに ②番と 回答した人]

10. 最近 30日間に、 ニコチンが含まれた液状タイプ電子タバコを使用した日は何日ありますか？

- ① 最近 30日間にはない、② 月 1~2日、③ 月 3~5日、④ 月 6~9日、⑤ 月 10~19日、⑥ 月 20~29日、⑦ 毎日

11. これまでに 紙巻タイプ電子タバコ(加熱タバコ、例：アイコス、グロー、リール など)を使用したことがありますか？

- ① ない → 11番
- ② ある → 12番

[11番の問いに ②番と 回答した人]

12. 最近 30日間に、 紙巻タイプ電子タバコ(加熱タバコ、例)アイコス、グロー、リールなどを一度でも使用した日は何日ありますか？

- ① 最近 30日間にはない、② 月 1~2日、③ 月 3~5日、④ 月 6~9日、⑤ 月 10~19日、⑥ 月 20~29日、⑦ 毎日

タバコは普通のタバコ、ニコチンが含まれた液状タイプ電子タバコ、紙巻タイプ電子タバコが全て該当します。

[7、9、11番の問いに ②番と回答した人]

13. 初めてタバコを一口、二口でも吸った時はいつですか?

- ① 小学校 入学前、② 小学校 1年生、③ 小学校 2年生、④ 小学校 3年生、⑤ 小学校 4年生、⑥ 小学校 5年生
- ⑦ 小学校 6年生、⑧ 中学校 1年生、⑨ 中学校 2年生、⑩ 中学校 3年生、⑪ 高等学校 1年生、⑫ 高等学校 2年生
- ⑬ 高等学校 3年生

タバコは普通のタバコ、ニコチンが含まれた液状タイプ電子タバコ、紙巻タイプ電子タバコが全て該当します。

[8、10、12番の問いに ⑦番と回答した人]

14. タバコを毎日吸い始めたのはいつですか?

- ① 小学校 入学前、② 小学校 1年生、③ 小学校 2年生、④ 小学校 3年生、⑤ 小学校 4年生、⑥ 小学校 5年生
- ⑦ 小学校 6年生、⑧ 中学校 1年生、⑨ 中学校 2年生、⑩ 中学校 3年生、⑪ 高等学校 1年生、⑫ 高等学校 2年生
- ⑬ 高等学校 3年生

タバコは普通のタバコ、ニコチンが含まれた液状タイプ電子タバコ、紙巻タイプ電子タバコが全て該当します。

[8、10、12番の問いに ②~⑦番と回答した人]

15. 最近 30日間で、タバコを一日に平均何本 吸いましたか?

- ① 1本未満/1日、② 1本/1日、③ 2~5本/1日、④ 6~9本/1日、⑤ 10~19本/1日、⑥ 20本以上/1日

16. 最近 30日間に、コンビニやお店などでタバコを買おうとした時どうしましたか?

- ① 最近 30日間はタバコを買おうとしたことがない
- ② タバコを買うことが不可能だった
- ③ かなり努力すれば買えた
- ④ 少しだけ努力すれば買えた
- ⑤ 努力しなくても簡単に買えた

タバコは普通のタバコ、ニコチンが含まれた液状タイプ電子タバコ、紙巻タイプ電子タバコが全て該当します。

[8、10、12番の問いに ②~⑦番と回答した人]

17. 最近 12か月間に、タバコをやめようと試みたことがありますか?

- ① 最近 12か月間にはない
- ② 最近 12か月間にはある

18. 最近 7日間に、あなたの 家庭で 他の人が吸ったタバコの煙の臭いを嗅いだ日が 何日ありますか?

- ① 最近 7日間にはない、② 週 1日、③ 週 2日、④ 週 3日、⑤ 週 4日、⑥ 週 5日、⑦ 週 6日、⑧ 毎日

19. 最近 7日間に、禁煙区域の学校の室内(教室、トイレ、廊下など)で他の人が吸っているタバコの煙を嗅いだ日は何日ありますか?

- ① 最近 7日間にはない、② 週 1日、③ 週 2日、④ 週 3日、⑤ 週 4日、⑥ 週 5日、⑦ 週 6日、⑧ 毎日

20. 最近 7日間に、 自宅または学校ではない禁煙区域の室内(商店、食堂、ショッピングモール、公演場、インターネット(PC)カフェ、カラオケなど)で他の人が吸っているタバコの煙を嗅いだ日は何日ありますか?

- ① 最近 7日間にはない
- ② 週 1日
- ③ 週 2日
- ④ 週 3日
- ⑤ 週 4日
- ⑥ 週 5日
- ⑦ 週 6日
- ⑧ 毎日

21. 最近 30日間に、 タバコの箱の警告のイラストを見たことがありますか?

- ① 最近 30日間にはない
- ② 最近 30日間にはある → 22番

[21番の問いに ②番と 回答した人]

22. タバコの箱の警告イラストを見て、喫煙が健康に害があると思えましたか?

- ① 健康に害があると全く思わなかった
- ② 健康に害があると少し思った
- ③ 健康に害があると強く思った
- ④ 健康に害があると非常に強く思った

[21番の問いに ②番と 回答した人]

23. タバコの箱の警告イラストを見て、あなたがタバコを吸ってはいけないと思えましたか?

- ① タバコを吸ってはいけないと 全く思わなかった
- ② タバコを吸ってはいけないと 少し思った
- ③ タバコを吸ってはいけないと 強く思った
- ④ タバコを吸ってはいけないと 非常に強く思った

<その他薬物に関する質問項目>

24. 今まで **習慣的に**、または **故意に**薬物を飲んだり ブタンガス、ボンドなどを吸ったりしたことがありますか?

- ① ない
- ② ある → 25番

[24番の問いに ②番と 回答した人]

25. **気分の変化や幻覚などの経験、過度のダイエットなどを目的に**ブタンガス、ボンドをはじめ、覚せい剤、ヒロポン、アンフェタミン、麻薬、多量の咳止め薬、精神安定剤などを飲んだり吸ったりしたことがありますか?

- ① ない
- ② 以前に薬物を使用したことがあるが、最近は使用していない
- ③ 最近もときどき薬物を使用する

諸外国における青少年の薬物使用の実態

1. 海外の青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査の概要

表 1. 海外の青少年を対象とした薬物使用に関する全国学校調査の概要

調査名	中学生調査		高校生調査		ESP AD	ASSAD	KYRBS	GSHS
	飲酒・喫煙・薬物乱用について の全国中学生意識・実態調査	薬物使用と生活に関する全国 中学生調査	Monitoring the future national survey	MTF				
調査年	2018年	2018年	2019年	2019年	2019年	2017年	2014年、2019年	2015年
調査開始	1996年	2004年	1975年	1995年	1995年	1984年		2008年
調査回数	第12回目	第4回目	第45回目	第7回目	第7回目	第12回目	第10回目、第15回目	第2回目
助成機関	厚生労働省	厚生労働省	National Institute on Drug Abuse	EU, EMCDDA, Contributions of each countries, etc.	Australian Government Department of Health, etc.		Korean Government	CDC and WHO
実施主体	国立精神・神経医療研究セン ター	国立精神・神経医療研究セン ター	University of Michigan's Institute for Social Research	European monitoring centre for drugs and drug addiction (EMCDDA)	Centre for Behavioural Research in Cancer, Cancer Council Victoria		Korea Centers for Diseases Control and Prevention	Department of Health, Ministry of Public Health, Thailand
調査対象	中学校	高等学校	Secondary school	Secondary school	Secondary school	Secondary school	Middle and High school	Any school
有効回答	71,351名	49,208名	42,531名	96,046名	19,115名	72,060名、57,303名	5,894名	

2. 青少年の薬物使用経験の国際比較

表2. 生涯の薬物使用経験率の国際比較 (全体)

Countries	Lifetime prevalence of substance use (%)																					
	Japan	Japan	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	Australia	Australia	Australia	Australia	Korea	Korea	Korea
Surveys	Junior	High	MTF	MTF	MTF	MTF	MTF	ESPAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	KYRBS	KYRBS	KYRBS	GSHS
Year	2018	2018	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2019	2019	2019	2015
Ages	Junior	High	13-14	15-16	17-18	13-18	15-16	15-16	12-15	16-17	12-17	16-17	12-17	12-17	12-17	12-17	12-17	12-17	12-18	12-18	12-18	13-17
Any drug	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Any illicit drug	0.4	-	20.4	37.5	47.4	34.8	17.8	17.8	12	31	18	31	18	18	0.4	0.5	-	-	-	-	-	-
Inhalants	0.5	0.4	9.5	6.8	5.3	7.3	7.2	7.2	19	15	18	15	18	18	0.4	-	-	-	-	-	-	-
Marijuana	0.3	0.3	15.2	34	43.7	30.6	16.5	16.5	9	30	16	30	16	16	0.2	-	-	-	-	-	-	6.6
Methamphetamine	0.3	0.2	0.9	0.7	0.8	0.8	1.4	1.4	-	-	2	-	2	2	0.3	-	-	-	-	-	-	4.4
NPS	0.3	0.2	-	-	-	-	4.2	4.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MDMA	-	0.2	1.7	3.2	3.3	2.7	2.3	2.3	3	9	2	9	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Cocaine	-	0.2	1.2	2.5	3.8	2.4	2.2	2.2	1	4	2	4	2	2	0.2	-	-	-	-	-	-	-
Heroin	-	-	0.7	0.4	0.6	0.6	1.2	1.2	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
LSD	-	-	1.6	3.6	5.6	3.5	2.0	2.0	2	6	3	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Alcohol	21.9	27.3	24.5	43.1	58.5	41.5	80.3	80.3	58	83	66	83	66	66	43.0	39.4	-	-	-	-	-	-
Cigarettes	2.2	4.7	10.0	14.2	22.3	15.3	45.6	45.6	12	31	18	31	18	18	19.9	12.7	-	-	-	-	-	-

表 3. 生涯の薬物使用経験率の国際比較 (男性)

		Lifetime prevalence of substance use (%)													
Countries	Japan	Japan	U.S.	U.S.	U.S.	U.S.	U.S.	U.S.	Europe	Australia	Australia	Australia	Korea	Korea	Thailand
Surveys	Junior	High	MTF	MTF	MTF	MTF	MTF	ESPAD	ASSAD	ASSAD	ASSAD	KYRBS	KYRBS	GSHS	
Year	2018	2018	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2017	2017	2017	2014	2019	2015
Ages	Junior	High	13-14	15-16	17-18	13-18	15-16	15-16	12-15	16-17	12-17	12-18	2014	2019	13-17
Any drug	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Any illicit drug	0.5	-	18.1	36	47.2	-	20.6	13	33	19	33	0.6	0.6	0.5	-
Inhalants	0.6	0.6	7.6	6.2	5.8	-	7.2	18	16	17	16	-	-	-	-
Marijuana	0.4	0.4	13.6	32.9	43.7	-	19.1	10	33	17	33	-	-	-	10.8
Methamphetamine	0.4	0.3	0.6	0.7	0.8	-	1.7	-	-	2	-	-	-	-	7.3
NPS	0.4	0.3	-	-	-	-	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-
MDMA	-	0.3	1.8	3.5	3.9	-	2.7	4	12	6	12	-	-	-	-
Cocaine	-	0.3	1.2	2.7	4.4	-	2.5	1	5	3	5	-	-	-	-
Heroin	-	-	0.6	0.6	0.8	-	1.4	-	-	1	-	-	-	-	-
LSD	-	-	1.6	4.1	7.2	-	2.5	3	8	4	8	-	-	-	-
Alcohol	24	30.3	23.1	40.8	56.8	-	81.5	61	81	67	81	48.4	43.0	43.0	-
Cigarettes	2.8	6.4	9.7	15.5	25.2	-	47.3	12	31	18	31	28.4	17.5	17.5	-

表 4. 生涯の薬物使用経験率の国際比較 (女性)

Countries	Lifetime prevalence of substance use (%)																																					
	Japan	Japan	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S	U.S																							
Surveys	Junior	High	MTF	2019	13-14	MTF	2019	15-16	MTF	2019	17-18	MTF	2019	13-18	ESPAD	2019	15-16	ASSAD	2017	12-15	ASSAD	2017	16-17	ASSAD	2017	12-17	KYRBS	2014	12-18	KYRBS	2014	12-18	KYRBS	2014	12-18	GSHS	2015	13-17
Year	2018	2018	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2015	2015		
Ages	Junior	High	13-14	15-16	17-18	13-18	15-16	17-18	13-18	15-16	17-18	13-18	15-16	13-18	15-16	15-16	15-16	12-15	16-17	12-17	12-17	12-17	12-17	12-17	12-17	12-18	12-18	12-18	12-18	12-18	12-18	12-18	12-18	12-18	12-18	12-18		
Any drug	0.4	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Any illicit drug	0.3	-	22.5	38.5	46.6	-	15	12	30	17	0.3	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Inhalants	0.4	0.1	11.3	7.5	4.8	-	7.3	20	15	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Marijuana	0.2	0.1	16.4	34.8	42.9	-	13.9	9	28	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1
Methamphetamine	0.2	0.1	1.2	0.6	0.7	-	1.1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8
NPS	-	0.1	1.6	2.8	2.8	-	1.8	3	7	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MDMA	-	0.1	1.3	2.2	3	-	1.8	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cocaine	-	-	0.8	0.2	0.3	-	0.9	-	-	<1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Heroin	0.2	0.1	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LSD	-	-	1.6	2.9	3.7	-	1.6	2	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Alcohol	19.6	24.1	25.7	45.2	60.2	-	79.3	55	85	64	37	35.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cigarettes	1.6	2.8	10.2	12.8	18.8	-	43.9	11	32	17	10.6	7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「< 1」：1%未満を示す。



青少年における 世界と日本の薬物使用

ここでは、わが国の青少年における薬物使用の問題を国際的な視点から比較することを目的に、

海外で実施されている全国学校調査の結果をもとに、
青少年における海外の薬物使用の実態について紹介します。